



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東 大

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安藤 道明

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日

未定

TEL 03-3201-1541

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,796	△59.8	△313	—	△328	—	△324	—
24年3月期第1四半期	9,436	3.1	202	△6.6	188	△7.2	96	—

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 △333百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 184百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.12	—
24年3月期第1四半期	0.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	8,409	7,232	86.0	24.97
24年3月期	8,623	7,565	87.6	26.09

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 7,232百万円 24年3月期 7,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	△7.9	60	—	20	—	10	—	0.03
通期	29,000	11.2	160	△24.2	100	△30.8	70	—	0.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期1Q | 289,747,982 株 | 24年3月期 | 289,747,982 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期1Q | 88,158 株 | 24年3月期 | 87,926 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期1Q | 289,659,824 株 | 24年3月期1Q | 289,660,169 株 |

25年3月期1Q	289,747,982 株	24年3月期	289,747,982 株
25年3月期1Q	88,158 株	24年3月期	87,926 株
25年3月期1Q	289,659,824 株	24年3月期1Q	289,660,169 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や個人消費の回復を背景として持ち直しの動きが見られるものの、欧州債務危機や円高の長期化、電力供給の制約に対する懸念等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、欧州債務問題による通貨不安等を背景として高い水準で推移していたものの、米国の金融緩和の動向や為替相場の変動が影響し相場が乱高下する等、厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や税制等の政策支援により、住宅購入環境に改善の動きが見られるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。機械事業においては、アジアを中心とした新興国の経済拡大に伴い、自動車向け、電気・精密向けの工作機械の需要は堅調に推移したものの、金融引き締めによる中国経済の鈍化等の影響から業績は低調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期の売上高は3,796,007千円（前年同期9,436,629千円）、営業損益は313,316千円の損失（前年同期202,616千円の利益）、経常損益は328,544千円の損失（前年同期188,804千円の利益）、四半期純損益は324,023千円の損失（前年同期96,986千円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、前第2四半期より一部取引先との金地金販売取引形態を変更したことに加え、貴金属価格、金地金原料集荷量ともに当初想定を下回ったことから、売上高は前年同期に比べ大幅に減少し、3,350,306千円（前年同期8,624,442千円）、営業損益は95,870千円の損失（前年同期85,758千円の利益）となりました。

不動産事業におきましては、売上高82,743千円（前年同期64,782千円）、営業損益は3,906千円の損失（前年同期11,265千円の損失）となりました。

機械事業におきましては、売上高は362,957千円（前年同期552,741千円）、営業損益は7,617千円の損失（前年同期28,146千円の利益）となりました。

投資事業におきましては、有価証券等に投資を行っており、営業損益は100,344千円の損失（前年同期189,694千円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より214,115千円減少し、当第1四半期末は、8,409,874千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加（734,942千円から926,403千円へ191,460千円の増加）、貸付商品の増加（872,210千円から1,069,177千円へ196,967千円の増加）、預け金の増加（279,687千円から1,370,300千円へ1,090,612千円の増加）、デリバティブ債権の増加（90,859千円の増加）であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少（2,421,444千円から710,063千円へ1,711,381千円の減少）であります。

当第1四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より119,707千円増加し、当第1四半期末は、1,177,799千円となりました。

増加の主なものは、デリバティブ債務の増加（185,830千円の増加）であります。

当第1四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より333,823千円減少し、当第1四半期末は、7,232,075千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少（△5,195,035千円から△5,519,059千円へ324,023千円の減少）であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

貴金属事業において、貴金属価格、金地金原料集荷量ともに当初想定を下回ったことから業績は低迷いたしましたが、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。確定次第速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,421,444	710,063
受取手形及び売掛金	47,630	106,701
有価証券	4,000	4,000
商品及び製品	734,942	926,403
仕掛品	140,801	61,606
原材料及び貯蔵品	24,852	16,860
販売用不動産	480,244	427,983
仕掛不動産	275,524	324,709
貸付商品	872,210	1,069,177
預け金	279,687	1,370,300
デリバティブ債権	—	90,859
その他	61,320	56,559
流動資産合計	5,342,660	5,165,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,167,644	1,168,074
減価償却累計額	△268,401	△291,064
建物及び構築物（純額）	899,242	877,010
機械装置及び運搬具	563,365	563,688
減価償却累計額	△340,519	△351,158
機械装置及び運搬具（純額）	222,846	212,530
土地	1,472,845	1,472,845
その他	114,378	114,854
減価償却累計額	△71,973	△75,898
その他（純額）	42,404	38,955
有形固定資産合計	2,637,339	2,601,341
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	5,781	5,552
無形固定資産合計	370,781	370,552
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	150,544	150,091
その他	11,513	11,513
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	273,209	272,756
固定資産合計	3,281,330	3,244,651
資産合計	8,623,990	8,409,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,069	2,806
関係会社短期借入金	55,000	53,000
1年内返済予定の長期借入金	182,768	182,768
未払金	34,904	26,737
未払法人税等	36,920	12,723
デリバティブ債務	—	185,830
その他	22,764	29,912
流動負債合計	335,426	493,777
固定負債		
長期借入金	472,209	430,179
長期未払金	59,909	58,109
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	10,103	14,308
資産除去債務	173,409	174,392
固定負債合計	722,665	684,022
負債合計	1,058,091	1,177,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△5,195,035	△5,519,059
自己株式	△30,930	△30,930
株主資本合計	7,556,098	7,232,075
少数株主持分	9,800	—
純資産合計	7,565,898	7,232,075
負債純資産合計	8,623,990	8,409,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	9,436,629	3,796,007
売上原価	8,883,684	3,752,026
売上総利益	552,945	43,980
販売費及び一般管理費	350,329	357,296
営業利益又は営業損失 (△)	202,616	△313,316
営業外収益		
受取利息	14	17
国庫補助金収入	10,066	10,066
その他	1,028	1,000
営業外収益合計	11,108	11,083
営業外費用		
支払利息	3,029	2,729
休山管理費	21,878	23,567
その他	12	15
営業外費用合計	24,920	26,312
経常利益又は経常損失 (△)	188,804	△328,544
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	188,804	△328,544
法人税、住民税及び事業税	4,961	5,278
法人税等調整額	△321	—
法人税等合計	4,639	5,278
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	184,165	△333,823
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	87,178	△9,800
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	96,986	△324,023

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	184,165	△333,823
四半期包括利益	184,165	△333,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,986	△324,023
少数株主に係る四半期包括利益	87,178	△9,800

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	貴金属	不動産	機械	投資			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	8,624,442	64,782	552,741	194,664	9,436,629	—	9,436,629
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,016	—	—	4,016	△4,016	—
計	8,624,442	68,798	552,741	194,664	9,440,646	△4,016	9,436,629
セグメント利益又はセグメント損失(△)	85,758	△11,265	28,146	189,694	292,334	△89,718	202,616

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△89,718千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用△89,718千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	貴金属	不動産	機械	投資			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,350,306	82,743	362,957	—	3,796,007	—	3,796,007
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,016	—	—	4,016	△4,016	—
計	3,350,306	86,760	362,957	—	3,800,023	△4,016	3,796,007
セグメント損失(△)	△95,870	△3,906	△7,617	△100,344	△207,738	△105,577	△313,316

(注) 1. セグメント損失の調整額△105,577千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用△105,577千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント損失に与える影響は軽微であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。